

駒ヶ根市の鉄道 100 年記念事業

取組に至る背景・事業の目的

昨今のモータリゼーション進展により飯田線の利用者は激減し、駒ヶ根市の中心駅である駒ヶ根駅でもJRからの駅員配置が無くなり、高校生等の地域の移動手段として必要な飯田線の存続が不安視されている。そこで、駒ヶ根市内4駅開業100年を契機に飯田線の価値を再認識するとともに、駅を軸とした市街地や観光地の賑わい創出や地域活性化を目指した。

事業内容

「飯田線を活かした中心市街地や観光地の活性化」及び「飯田線の利用促進及び啓発」につながるような次のパイロット事業を、商店街、商工業者、観光業者、市民団体、JR、行政等22団体から構成する実行委員会が、市内外の個人及び団体と協働で実施した。

【事業一覧】

飯田線ぷらっとフォームモデル事業、電車で夏祭りにGO!、飯田線秘境駅の旅ご招待セール、著名人と行く飯田線&中央アルプスの旅、プロジェクションマッピング、鉄道100年記念式典イベント、健康長寿のまち駒ヶ根

ウォーキング、電車のお話し会&ミニSL乗車会、飯田線写真展&鉄道模型・グッズ展示会、飯田線運転シミュレーター体験、鉄道100年記念品&タイアップ商品開発



【駒ヶ根駅前広場でのイベントの様子】

事業効果

- ・事業への直接参加者は約10,000人であり、これにより中心市街地や観光地への入込客、消費が拡大した。また、お祭りや売出しなどの既存イベントとの連携開催による相乗効果で活性化した。
- ・毎年約5%利用者が減少している駒ヶ根駅で、普通乗車券売上対前年比が100%を超える月が増加(9月107%、11月101%、12月117%)したため、事業の広報宣伝や啓発活動により、減少幅が縮小したと推測される間接的な効果が得られた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

飯田線は地域の大切な足であり、賑わいや観光などの重要な資源である飯田線を守り活かす取り組みを、本年度のパイロット事業で効果が高かった事業を発展継続していくと同時に、事業を通じて得たヒントをもとに新たな事業展開をしていく。また、飯田線沿線市町村へもこの取り組みを共有して波及し、より多くの団体と協働して飯田線を守り活かしていく。

【選定のポイント】

飯田線の利用促進と駅前市街地の活性化を目的とした様々なイベントを企画し、高校生を含む多くの住民参加を得て市内外に飯田線を守り活かす機運の醸成に寄与した。

団体名	駒ヶ根市の鉄道100年 地域活性化事業実行委員会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	駒ヶ根市企画振興課 http://komatetsu100.jimdo.com/ kizai@city.komagane.nagano.jp	事業費	7,511,164円
		支援金額	5,991,000円